

	国語	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	特別の教科 道徳	外国語	総合的な学習	特別活動
学習目標	【知識及び技能】 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	【知識及び技能】 我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状、社会の情報化と産業の関わりについて、国民生活との関連を踏まえて理解するとともに、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。	【知識及び技能】 整数の性質、分数の意味、小数と分数の計算の意味、面積の公式、図形の意味と性質、図形の体積、速さ、割合、帯グラフなどについて理解するとともに、小数や分数の計算をしたり、図形の性質を調べたり、図形の面積や体積を求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 数とその表現や計算の意味に着目し、目的に合った表現方法を用いて数の性質や計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力などを養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	【知識及び技能】 1 物質・エネルギー 物の溶け方、振り子の運動、電流がつくる磁力についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 2 生命・地球 生命の連続性、流れる水の働き、気象現象の規則性についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 1 物質・エネルギー 物の溶け方、振り子の運動、電流がつくる磁力について追究する中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力を養う。 2 生命・地球 生命の連続性、流れる水の働き、気象現象の規則性について追究する中で、生命を尊重する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う。	【知識及び技能】 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	【知識及び技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を活用し、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、親しみのある作品などから自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。	【知識及び技能】 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 家庭生活を大切にすることを育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。	【知識及び技能】 各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方及び心の健康やけがの防止、病気の予防について理解するとともに、各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自己やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 各種の運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組む態度を養う。	よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 A 主として自分自身に関すること B 主として人との関わりに関すること C 主として集団や社会との関わりに関すること D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	【知識及び技能】 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	【知識及び技能】 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。	【知識及び技能】 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。
学習方法の工夫など	○辞書の活用の習慣化を図る。 ○習得した言語を日常生活の中で活用する。 ○書く活動を重視する。(日記・視写) ○読書の幅や量を広げる。	○地図やグラフの読み取り方を繰り返し指導する。 ○県名や県庁所在地などの基礎的な知識を繰り返し学習させる。 ○教科書等の資料の活用の仕方を学ばせる。 ○図書館を利用し発展的な調べ学習に取り組ませる。	○四則計算を確実にするため、ドリル学習を重視する。 ○問題文をよく読ませ聞かれていることを把握させる。 ○既習の事柄から考えて解こうとするプロセスを大切ににする。	○実験や観察を大切ににする。 ○多面的なものの見方、考え方ができるように予想や話し合い活動を大切ににする。 ○生き物や植物を育てることにより、生命の大切さについて考えさせる。	○鑑賞活動と表現活動を充分関わらせることによって、感じ取ったことを表現できる力を育てる。 ○カードなどを使った様々な音楽活動を行い、基礎的な読譜力や演奏能力を身に付けさせる。 ○活動目標をはっきりさせ自己評価・相互評価を取り入れて主体的に学習に取り組ませる。	○楽しんで造形活動に取り組ませよう。題材や学習展開を工夫する。 ○児童と指導者、児童と児童の相互のかかわりの中で助言や支援活動を行う。 ○材料や表現方法など選択の場を多くする。	○実践的・体験的な活動を取り入れ、日常生活に必要な基礎的な知識や技能を身に付けさせる。 ○学習したことを家庭で生かすように、家庭学習の工夫をする。	○個の実態に応じた課題の達成にむけて挑戦できるように、目当てをもたせた学習方法をとる。 ○自分の体力を把握し、目標をもって学習できるようにする。 ○集団競技においては、みんなが楽しめるように創意工夫をさせる。	○児童の生活実態、生活課題に迫りやすい資料を選択する。 ○読み聞かせ、場面の絵の提示など、児童の生活体験を生かせるような導入の工夫をする。 ○ねらいに迫る効果的な発問、道徳ノート、ワークシートなどの工夫をする。	○必要な語彙や表現の定着を図るために、英語をしっかりと何度も聞かせたり、発音させたりする。 ○児童の達成感や満足感を高めるために、教科書や電子黒板を中心にして、カードなど具体物を工夫して使用する。 ○児童が興味をもってコミュニケーション活動をしていくために、担任とALTの先生が、それぞれの特徴を生かして役割を分担して指導を行う。	○調べたことをまとめたり、発表したりする場を設ける。 ○本に親しませる活動を多くとる。	○自分たちの学校生活を向上させるための問題解決を図るなど身近なことを取り上げて意識を高める。 ○達成感や協力意識が高まるように、みんなで一つのことを創り上げるような活動を仕組む。
評価方法	単元ごとのテスト 提出物・作文・感想文・ワークシートへの記入 学習に取り組む姿勢などで評価する。	単元ごとのテスト ノートやワークシートへの記入の仕方 発表の内容などで評価する。	単元ごとのテスト ノートやワークシートへの記入の仕方 授業中の態度、発表の内容などで評価する。	単元ごとのテスト ノートや学習プリントにおける結果や観察の的確なまとめ 実験や観察、意見発表の意欲などで評価する。	楽器演奏のテスト 歌唱テスト 鑑賞プリント 学習カードの記入 表情や態度の観察などで評価する。	作品（形や色の工夫・材料の生かし方・発想・発想を生かす技能） 取り組みの様子 作品カードや感想文などの記録などで評価する。	ワークシートなどへの記入の仕方 製作活動・調理実習など実技における態度や意欲 作品・実技テストなどで評価する。	運動の技能 運動の楽しさを味わうための工夫や自分の運動能力に向けた努力の様子 保健内容の理解などで評価する。	関心や意欲 道徳ノート ワークシートなどで評価する。	単元ごとのテスト 関心や意欲・発音練習、ゲームや歌など 発表の内容 学習に対する意欲（コミュニケーション活動の様子）などで評価する。	自ら進んで課題解決しようとしているか、活動中の態度・意欲 わかったことなどのまとめなどで評価する。	日常的な学級活動・児童会やクラブ活動・学校行事への関心意欲や態度、行動の様子。 日記や作文などで評価する。